

令和8年度

黒石市に対する要望事項への回答

黒石市

# 令和8年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

最重点要望事項		担 当 課
1	黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）	商工課

重点要望事項		担 当 課
<b>◆商工業振興</b>		
1	黒石市の経済対策について（継続）	企画課 商工課
2	中小企業者等が行う貸上げに対する支援について（新規）	商工課
3	マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）	市民環境課
<b>◆都市環境</b>		
4	街なかの環境整備について（新規）	市民環境課 商工課 都市建築課 文化スポーツ課
5	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課
6	市民の利便性向上に資するワンストップ行政の実現について（新規）	総務課
7	イベント期間中の公共交通機関の充実について（新規）	商工課 観光課
<b>◆観光振興</b>		
8	虹の湖公園の改修について（新規）	観光課
9	食の情報発信拠点等の整備について（新規）	商工課 観光課
10	地域資源を活かした黒石温泉郷への誘客促進について（新規）	観光課

様式 1

最重点要望事項 1 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

市が保証料を全額補助する小口資金特別保証制度の保証料給付は、例年年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなどニーズの高い制度であるため、制度自体の融資承諾枠が予算に達していない場合でも、保証料の給付については例年比較的早く予算に達しており、保証料補給枠がないことで融資の申込を躊躇する事業所が多く見られます。

また、黒石市が連携している青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」については、保証料の補助に際し、市より70%が補給されるほかは事業者負担となっており、小口資金特別保証制度に比べて利用しづらい制度となっております。

つきましては、「小口資金特別保証制度」における保証料補給枠の増額に加え「事業活動応援資金（事業活動枠）」において設備資金を資金用途とする場合、事業者の人手不足対策や生産性向上を支援する観点から、保証料を100%補給とする制度設計を要望します。

要望事項に対する回答

令和7年12月末現在の信用保証料補給実績は、16,748千円の予算に対し、黒石市小口資金特別保証制度3,701千円、県融資制度の連携分として「事業活動応援資金特別保証制度」については、2,494千円、「青森新時代」への架け橋資金特別保証制度については464千円となっており、消化率は39.7%となっております。

令和6年度実績及び令和7年度の保証料補給枠の消化状況をみますと、黒石市小口資金特別保証制度の保証料補給枠については、要望に十分対応できているものと思料されます。

「事業活動応援資金（事業活動枠）」における設備資金を用途とする場合の100%補給とする制度設計については、令和8年度より黒石市小口資金特別保証制度の拡充を行うことから、その利用状況等を踏まえたうえで、関係機関と協議してまいります。

様式 1

要望事項 1 黒石市の経済対策について（継続）

担当課・機関名 企画課・商工課

要望事項の内容

原油価格や物価高騰の影響により、市内事業者及び市民の負担増が続き終息の見通しが立っていません。この状況を踏まえ、令和7年度に行われた「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」と同様の経済対策を継続して要望いたします。  
 本事業は市内事業者の安定した商品提供の継続や、顧客離れ防止及び市民の生活必需品の購入支援等、双方にメリットがあり、地域の消費活性化に寄与する事業であると考えます。

要望事項に対する回答

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」を継続して実施しておりますので、多くの市民にご利用いただきたいと思います。

様式 1

要望事項 2 中小企業者等が行う賃上げに対する支援について（新規）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

最低賃金の引き上げにより、防衛的賃上げをせざるを得ない中小企業者等が多く存在する中、令和7年11月、弘前市では弘前市賃上げ応援奨励金の受付を開始しました。この制度は事業者にとって効果的な制度であると考えます。  
 つきましては、賃上げに伴う厳しい経営環境を支援することにより、急激な物価高騰下における労働者の生活水準の維持向上及び人材の確保・定着を促進し、持続可能な雇用環境の構築につながるため、市内の中小企業者等の賃上げに対する支援を要望します。

要望事項に対する回答

現在、国で中小企業における最低賃金の引き上げを軸とした業務改善、人材育成、設備投資等への支援制度を設けておりますので、現段階で市内の中小企業等の賃上げに対する市独自の支援は考えておりません。

様式 1

要望事項

3 マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて  
(継続・一部変更)

担当課・機関名

市民環境課

要望事項の内容

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しており、市民は様々なサービスを受けられます。黒石市ではコンビニエンスストアで住民票や印鑑証明を取得するサービスが開始され、自宅付近のコンビニエンスストアでサービスを受けられる、自治体の営業時間外でもサービスを受けられるようになりました。

しかし、健康保険証としての利用（「マイナ保険証」）や運転免許証との一体化（「マイナ免許証」）などマイナンバーカードの多機能化が進む中で、高齢者をはじめとする市民が制度や利用方法、各種手続の仕方を十分に理解できず、利用促進が進まない可能性があります。

つきましては、マイナ保険証・マイナ免許証の機能を含めたマイナンバーカードの円滑な普及とさらなる利用促進を図るため、黒石市における相談・支援体制の強化、ならびに地域での説明会や個別サポートの拡充を要望します。

要望事項に対する回答

マイナンバーカードは平成28年1月より交付が開始され、成人の場合、有効期限は発行から10回目の誕生日までと定められています。

交付開始当初にマイナンバーカードを取得した方々が更新時期を迎えていることから、昨年度より申請及び交付件数が増加しております。本市では、現在も窓口にて、マイナンバーカードの顔写真撮影及び申請の補助を行っているほか、任意のグループからの依頼に基づき、市職員が指定された場所に直接伺い申請を受け付ける「出張申請受付」も実施しておりますので、そちらもご利用いただきたいと思います。

なお、マイナンバーカードの取得状況は、令和8年1月4日時点の申請数が32,287件、交付数が29,482件となっております。

様式 1

要望事項 4 街なかの環境整備について（新規）

担当課・機関名 市民環境課・商工課  
都市建築課・文化スポーツ課

要望事項の内容

観光客で集うこみせ通りには、雪害による建物が未補修の状態で見られ、損傷箇所の被害拡大が懸念されるとともに景観上支障をきたしています。また、多くの人々が利用する公衆トイレや歩道の街路灯が他市に比べて暗いとの声が聞かれています。

つきましては、こみせ通りの建物の雪害箇所の被害拡大防止のため、暫定的な措置を講じていただくよう要望します。併せて、公共施設等の照明光度の向上、防犯カメラの設置状況の周知および増設を検討し、観光客や市民が安全に散歩できるような街なかの環境整備について要望します。

要望事項に対する回答

こみせ通りの雪害対応については、被害拡大防止のため、昨年中には所有者に対して応急処置や「歴史的景観保存事業補助金」を活用した修理などが可能なことを周知しており、現時点で雪害被害の報告があった全ての所有者が応急処置や修理等の対応を行っています。

公園付設の公衆トイレ照明については、安心してトイレが利用できる十分な照度を確保しておりますが、今一度現況を確認し、照明の改修等の必要性を検討してまいりたいと考えます。

本市の防犯カメラについては、現在8基設置し、安全確保に努めております。

設置場所の周知につきましては、犯罪抑止効果が期待できる一方で、死角を狙った犯罪を誘発するおそれもあり、防犯機能の低下が懸念されることから、周知の在り方については慎重に判断したいと思っております。

また、増設につきましては、設置費用や維持管理費用の確保が難しく、現状では地区防犯協会からの寄付により整備している状況です。加えて、点検等に必要なマンパワーも課題であることから、今後の整備方針については、財源や運用体制を踏まえつつ、適切な対応を検討してまいります。

様式 1

要望事項 5 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

担当課・機関名 土木課・都市建築課

要望事項の内容

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を経由して青森市と結ぶ重要路線です。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっています。  
この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

要望事項に対する回答

主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策として、山形町等交差点への右折レーン設置や、寿町交差点から国道102号との交差点区間で信号機の調整による対策が行われております。  
さらなる拡幅工事につきましては、用地取得に伴い、既存の住宅や商店にも大きな影響を与えることが想定されることから、現時点において予定はありません。  
市は、都市計画道路3・4・7黒石環状線について、平成25年度から令和6年度にかけて柵ノ木三丁目の県道弘前田舎館黒石線から北側角田方面への906メートル区間の事業を実施し、令和7年4月1日に供用開始となりました。  
現事業区間の終点である柵ノ木「りんご研究所」交差点付近から南側の国道102号「なごみホール黒石」交差点までの区間約1,100メートルの計画道路については、現在開発が進んでいるロジスティクス戦略の事業地にも直結し、物流に最適かつ効果的な道路であるとともに、大型車の円滑な通行及び交通渋滞の緩和にも大きな役割を果たすことが期待できるものと考えております。  
この区間の整備につきましては、浅瀬石川を跨ぐ長大橋をはじめ、膨大な事業費が必要となり、技術面及び財政面においても、市が実施するには困難な事業であることから、県事業として整備していただくよう要望しているところです。

様式 1

要望事項 6 市民の利便性向上に資するワンストップ行政の実現について（新規）

担当課・機関名 総務課

要望事項の内容

黒石市における行政体制につきましては、境松庁舎や黒石市役所、わのまちセンターなどの複数の建物に窓口が分散している現状です。そのため、一つの手続きを行う際であっても、複数の窓口を行き来せざるを得ず、時間的・身体的負担が少なくありません。特に高齢者や小さなお子様を連れた方、また仕事の合間に手続きを行う市民にとっては、大きな不便を感じる要因となっております。

市民から見れば「同じ市役所の業務」であるにもかかわらず、建物や担当部署が分かれているために、利便性が十分でないと感じられる場面が少なくありません。

オンラインや電子申請の更なる推進で、窓口に出向く必要を減らすとともに、サポート体制を設けることで高齢者やデジタル機器に不慣れな市民にも安心して利用できる環境を整えていただきたいです。

こうした状況を改善し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を実現するために、窓口を一本化したワンストップ行政について要望します。

要望事項に対する回答

市では、令和6年10月にオープンした黒石市役所わのまちセンターに窓口業務を集約するとともに、マイナンバーカード等を利用した「書かない窓口」を導入しました。1階の総合案内にはコンシェルジュを配置し、庁舎の案内だけでなく「書かない窓口」の支援などにも対応しているところです。

小、中学校の入学関係の手続きや市営住宅の入居申込手続きなど、一部の業務については、わのまちセンター以外の庁舎で申請手続き等が必要となりますが、水道の開閉栓手続きについてはLINEや電話での手続きを導入するなど、窓口改革を進めているところです。

今後も、市民の皆様の御意見を取り入れながら、さらに便利で使いやすい窓口の検討を進めるとともに、住民と職員の双方の負担が軽減されるよう、オンラインや電子申請の拡充に努めてまいります。

様式 1

要望事項 7 イベント期間中の公共交通機関の充実について（新規）

担当課・機関名 商工課・観光課

要望事項の内容

黒石ねぶたまつりや黒石よされ、こみせまつり等、黒石市で開催されるイベントは一定の集客力を有しているものの、その経済効果がイベント会場周辺に限定されている現状があります。現在、市内の公共交通機関が限られているため、自家用車を持たない観光客や高齢者にとって、複数の観光地を巡ることが困難な状況となっています。また、イベント期間中は駐車場不足や交通渋滞の問題も発生しており、来訪者の利便性向上と交通環境改善が喫緊の課題となっています。

イベント会場と市内観光地を結ぶ臨時バスの運行をすることで、イベント来場者が市内各所を訪れる機会が創出され、滞在時間の延長、飲食店や土産物店をはじめとする地域事業者の売上増加等による市内事業者への経済効果の拡大が期待できます。また、駐車場不足の緩和や交通渋滞の軽減にも寄与し、点在する観光資源を効果的に活用することで、黒石市全体の観光振興と地域活性化につながるものと考えます。具体的には、黒石よされ、こみせまつり等の主要イベント開催期間中に、黒石駅、中町こみせ通り、津軽こけし館、津軽伝承工芸館、温湯温泉など主要観光地を巡回するルートで、30分から1時間間隔での定期運行を希望します。料金体系については1日乗り放題パスの導入など観光客が利用しやすい設定とすることで、市内周遊の促進が図られます。さらに、バス車内やバス停において観光情報の提供を行うことで、来訪者の満足度向上にもつながると考えます。

つきましては、持続可能な観光地づくりの観点からも公共交通機関の充実は重要な施策であるため、黒石市の魅力を最大限に発信する機会であるイベント期間中の臨時バス運行を要望します。

要望事項に対する回答

市は現状を踏まえ、市内金融機関と連携協定を締結し、市内中心市街地で開催されるイベント時に市内金融機関駐車場を一般開放する取組を令和8年度から実施いたします。

今後更に知恵を出して駐車場の確保に努め、市を訪れる観光客等の利便性向上を図ってまいりますので、貴所におかれましては、本取組をはじめとする持続可能な観光振興対策に、ご協力いただきたいと思います。

様式 1

要望事項 8 虹の湖公園の改修について（新規）

担当課・機関名 観光課

要望事項の内容

当市の観光窓口として長年親しまれてきた道の駅「虹の湖公園」につきましては、かつては観光客や地域住民で賑わいを見せておりましたが、近年は来訪者数の減少や施設の老朽化が進み、往時の活気を失いつつあります。  
特に、トイレ・休憩スペースの老朽化、地場産品販売の廃止などが顕著であり、観光客の立ち寄りが減少し、地域経済に悪影響を及ぼしております。  
このままでは地域の魅力発信拠点としての機能が失われるおそれがあるため、道の駅「虹の湖公園」の施設改修を要望します。

要望事項に対する回答

虹の湖公園が設置された当時と比べ、旅行形態が団体客から個人客へシフトし、十和田湖方面への車の流れも時代とともに変化しております。地場産品の販売、飲食店の経営はその過程で淘汰されました。一方、家族でのピクニックや幼稚園・保育園の遠足は安定した利用があります。また、野外ステージを活用した音楽イベントやダンスイベントを企画していただき、キッチンカー出店やグッズ販売で誘客に一定の成果を上げております。  
虹の湖公園の施設改修に対し、市では一定規模の財源を投じておりますが、近年は老朽化した施設の撤去や、雪害に対する施設の修繕など、市民目線では目新しさに欠ける用途であったことも確かです。  
今後は時代のニーズに沿った施設改修が重要であると考えております。ご指摘のトイレ・休憩スペースの老朽化対策は優先度が高いものと認識しており、国の交付金などの活用も踏まえ検討してまいりたいと考えております。

様式 1

要望事項 9 食の情報発信拠点等の整備について（新規）

担当課・機関名 商工課・観光課

要望事項の内容

この数年当市には、新規出店者の増加や休日の「こみせ通り」の観光客の増加が見られます。今後も、様々な業種・業態の店舗が増加することで市内外からの来街者の増加が期待できると思います。  
 黒石と言えば、米、りんご、メロン、桃、ぶどうなどの農産物、加工品等が豊富にありますが、当市には、これらが一堂に揃い、買い物や飲食ができる拠点、黒石の魅力や歴史を知ることができる拠点が現在不足しています。  
 つきましては、市外から訪れる観光客の方々にも立ち寄りやすく、交通の便が良い場所に、多数の車両が収容可能で大型バスの受け入れが可能な「食の情報発信拠点」の整備を要望します。

要望事項に対する回答

当市の観光施設として、松の湯交流館、津軽こみせ駅、津軽伝承工芸館、津軽こけし館があり、それぞれの施設で、食やお土産の販売、また市の魅力や歴史を発信しております。  
 ここ数年の旅行傾向は団体旅行から個人旅行となっており、既存の施設を有効活用した周遊促進を図っております。  
 「食の情報発信拠点」の整備については、市内事業者への影響が懸念されるため、関係機関等との十分な協議を踏まえた上で検討する必要があると考えます。

様式 1

要望事項 10 地域資源を活かした黒石温泉郷への誘客促進について（新規）

担当課・機関名 観光課

要望事項の内容

黒石市は、古くからりんごや米といった一次産業が盛んであり、これらを中心とした農業体験をはじめ、こみせ通り、黒石よされ、黒石ねぶたなど、歴史と文化を感じられる豊富な観光資源を有しています。これらの地域資源は体験的に理解を深めることができる教育旅行の目的地としてなり得る場所です。

毎年、黒石市の温泉郷にある宿泊事業者数名で、青森県主催の「教育旅行セミナー・商談会」に参加し、教育旅行の誘致活動に取り組んでおります。具体的には、一泊二日で黒石市の魅力を体験できる独自のモデルコースを作成し、関係者の皆様に向けてプレゼンテーションを行うものです。その際、黒石市のご担当者様にもご同席いただき、地域の概要やこれまでの取り組みについて補足説明をいただけますと、より説得力のあるご案内が可能となり、黒石温泉郷への誘客促進につながると考えます。

このような取り組みにより、先生方の負担軽減を図りながら黒石市の魅力を効果的に発信し、教育旅行の誘致において他地域に対する大きなアドバンテージを得ることができると考えます。また、近年、全国的な交通費高騰の影響により、移動距離を抑えた教育旅行の需要が高まっております。この傾向を踏まえ、北海道からの誘客や、新幹線を利用してアクセス可能な地域への積極的なアプローチを重点的に行うことが重要と考えます。

つきましては、小・中学校を主対象とした国内教育旅行の誘致活動の積極的な展開への支援を要望いたします。

要望事項に対する回答

教育旅行は観光事業者にとって安定した収入となるため、誘致活動には市でも積極的に協力すべきものと考えます。

今後は貴会議所が参加している県主催商談会への支援や青森県とも情報共有に努め、連絡を密にし、誘致活動に取り組んでまいります。